

# 議会報告会報告書

開催日時	平成27年7月25日(土) 午後 2時00分～ 3時30分	
開催場所	浦賀コミュニティセンター	
出席議員	代表者	伊東雅之
	司会者	ねぎしかずこ
	報告者	角井 基(予算、総務)、土田弘之宣(生環)、藤野英明(教福)、山城保男(都整)、井口一彦(観光)
	記録者	井坂 直 (パソコン操作:渡辺光一 受付:田辺昭人)
参加人数	9 名	
報告内容	<p>(質問・回答)</p> <p>Q 防犯灯管理事業者の選定はどのようにしたのか。今回の場合、なぜ市内業者にならなかったのか。</p> <p>A 事業自体は大きな企業が請け負うが、実際のLED防犯灯の設置事業は、地域の電気屋さんに行っていたくような形でお願いする事業であり、なるべく市内の業者さんに参加していただく計画である。</p> <p>(意見・要望等)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・予算案と観光立市推進条例を分けていただくよう提案したい。</li></ul> <p>Q 議会報告会の制度は、広報だけではわかりづらいものもあるので住民としてはすばらしいと思う。浦賀で造られた日本丸は久里浜港に誘致することが決定したらしいが、浦賀ドックで汗水垂らして造った関係者やその家族を招待する場があればいいと思う。</p> <p>A 担当部局に伝えたい。</p> <p>Q 観光について、これからより具体的に進めていくと思うが、観光客に対してただ見て回ってもらうだけでなく、体験できることが大事ではないか。自分は富岡出身だが富岡は蚕の作業体験ができ、「なるほど、こうなのか」と感激度がある。長野のタクシー運転手は地元の城のことを詳しく説明してくれた。タクシー会社で勉強していると聞いた。横須賀では老夫婦が、JR久里浜駅からタクシーで「ペリー公園まで」と運転手に伝えたら、「あそこには何もない」と言われた。しかし行ってみたらそんなことはなかった。市長から市民まで横須賀がさらに発展していくためには、覚悟をもつてのぞむ必要があるだろう。</p> <p>A 貴重な御意見は観光立市推進特別委員会で報告し、反映させていきたい。</p> <p>Q 軍港・横須賀はやめてもらいたい。父親を戦争でなくしている。平和を目指している横須賀には山の緑や青い海、自然の豊かさがある。これらを忘れて軍と言っている。ネイビーバーガーが悪いとは言わないがイメージチェンジして取り組んでほしい。観光というものは市民から愛されるものでなければいけない。何か新しいものをつくる方向にすすむのでなく良いイメージづくりを観光で進めてほしい。</p> <p>A 軍という意識はしていないが、全国で海軍カレーが有名になり、軍というイメージがついた面もあるのでは。貴重な御意見として伺う。</p>	

横須賀市議会議長 様

平成27年 8月 7日

上記のとおり報告します。

代表者 伊東 雅之